

# 27年2月分 素材生産業者の活動・先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年 1月20日～ 27年2月10日

## 2. 調査実施方法

全国の素材生産業者に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
2月分の回答企業数は9社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### 素材生産動向

品目		26/2月	3月	4月
伐採動向	スギ	△ 25.0	△ 18.8	△ 12.5
	ヒノキ	△ 16.7	△ 16.7	△ 16.7
	カラマツ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	エゾ・トド	0.0	0.0	0.0
出荷・販売動向	スギ	△ 18.8	△ 12.5	△ 6.3
	ヒノキ	△ 10.0	△ 20.0	△ 20.0
	カラマツ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	エゾ・トド	0.0	0.0	0.0
手持立木在庫動向	スギ	△ 20.0	△ 20.0	△ 20.0
	ヒノキ	△ 66.7	△ 50.0	△ 50.0
	カラマツ	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
	エゾ・トド	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0

・スギ、ヒノキ及びカラマツの伐採は、3ヵ月連続して減少。エゾ・トドは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ、ヒノキ及びカラマツの出荷・販売は、3ヵ月連続して減少。エゾ・トドは3ヵ月連続して横ばい。

・スギ、ヒノキ、カラマツ及びエゾ・トドの手持立木在庫は、3ヵ月連続して減少。

### モニターからのコメント

#### (伐採動向)

- ・トドマツ間伐中、降雪による仕事の遅れも考えられるが、伐採は順調。
- ・一定量の伐採。
- ・降雪多い。
- ・皆伐のヒノキ中心だが、積雪のため出材減少。

#### (出材・販売動向)

- ・トラック不足で、販売に苦慮、国有林の素材公売物件にトドマツが少なく、一般流通材に需要がある。
- ・スギは全般に強含み。カラマツは中目材高値安定。
- ・安定販売。
- ・間伐100%で調整なし。

#### (手持ち立木在庫)

- ・トドマツ、カラマツで在庫があるので、良い立木物件がある時に手当てする予定。